



教官（北海道大学低温科学研究所）公募

1. 公募人数：寒冷陸域科学部門・助教授1名
2. 研究分野：雪氷と気候の相互作用あるいは氷河・氷床の動力学に関する研究。
当研究所は、寒冷圏および低温条件下における科学現象の基礎と応用の研究を目的とする全国共同利用の研究所であり、その中で当該部門は、地球システムにおける寒冷陸域の役割について地球科学的側面および環境科学的側面から総合的に研究しております。
なお、教育は、北海道大学大学院地球環境科学研究科・地圏環境科学専攻を担当して頂く予定です。
3. 着任時期：なるべく早い時期
4. 提出書類：
 - a. 履歴書（連絡先、大学入学以降の学歴、研究・教育歴、学位、受賞歴など）
 - b. 研究業績目録（査読制度のある学術誌に発表した原著論文、総説、著書、その他などに分ける）
 - c. 主要論文別刷あるいはコピー10編以内（研究業績目録に印をつける）
 - d. 科学研究費などの採択状況
 - e. 国内外の学会などでの活動状況（役職や編集委員などの担当歴、会議やシンポジウムの企画など参考になる事項）
 - f. これまでの研究概要と成果（2,000字程度）
 - g. 着任後の研究計画、研究展望、抱負など（2,000字程度）
5. 公募締切：平成15年11月28日（金）必着
6. 情報入手・問い合わせ先：
 - ①研究所の概要、関連する研究分野のスタッフについては、当研究所のホームページ（<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/>）をご覧ください。
 - ②直接の問い合わせ先
北海道大学低温科学研究所 教授 本堂 武夫
Tel：011-706-5466, Fax：011-706-7142
E-mail：hnd@lowtem.hokudai.ac.jp
7. 書類提出先：

〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目
北海道大学低温科学研究所長 本堂 武夫
（封筒の表に「寒冷陸域科学部門助教授応募書類」と朱書き、書留でお送り願います）。

編集後記：最近、ガーデニングに凝っています。園芸が趣味になるなんて、以前は想像もしなかったのですが、これがなかなか楽しいのです。栽培する品種を選び、育て方を調べ、土を作り、花壇あるいはコンテナに植え、水や肥料を与え、成長する様を観察し、病気や虫害に気を配り、そして成果（花・葉・枝・実）を得る。失敗することもあるし、意外な発見に出会うこともあります。まるで生物学実験や化学実験のようです。私の場合、庭を綺麗にするというのは副次的で、知的好奇心を満たし、達成感を得るといのが主な目的だったりします。

果樹、一年草、多年草、色々育てていますが、一番のめり込んでいるのが、薔薇です。薔薇は分類上、樹木なのですが、極めて成長の速度が速いために日々そ

の様子に変化し、生物学実験(?)の対象としては最適です。しかし、美しさ優先の品種改良が極端に進んだ結果として病気や害虫に弱く、大量の肥料や微量元素を必要とし、定期的に行わなければならない剪定にも様々なテクニックがあるため、一般に薔薇は育てるのが難しいとされています。また、薔薇の品種には膨大なバリエーションがあり、主だった園芸品種だけでも数百種類に上り、それぞれが特徴的な容姿・香りを持っているのですが、育て方もそれぞれ異なっているために難しさに拍車をかけています。ところが、これらが逆に、マニア心をくすぐるのです。私も色々な品種の薔薇を並べて育てています。

こんな趣味を持ってからというもの、毎日の天気気がなくなって仕方ありません。雨が降れば「ああ、薔薇

に黒点病やウドンコ病が蔓延する前に消毒をしなきゃ、風が強ければ「ああ、シュート(一日に数cm伸びる太い新枝)が折れないように支柱を立てなきゃ」、晴れたら晴れたで「ああ、水遣りの回数を増やさなきゃ」と気の休まる暇がありません。毎日どころか、6時間おきに天気予報をチェックしています。特に今年の夏は梅雨明けが遅れ、日照不足で気温も低かったため、植物たちの成長の遅れが心配でした。すぎるような気持ちで週間予報を眺めることもありました。

私は気象庁に勤務していますが、これまでは一般的な気象学というよりも大気化学という分野の視点で(それもグローバルな規模で)空を眺めていました。こ

れはこれで楽しいですし、意義のある仕事だと信じていますが、ガーデニングを通して日々の天気ローカルな移り変わりにも注意を払うようになりました。また、遅ればせながら、気象学を机上の学問としてだけでなく、生活に直結したテクノロジーの集大成として身近に感じるようにもなりました。農作物の出来不出来に生活が左右される農家の方々の心労を少しは察することができるようになったかな、とも思います。

気象情報はまず第一に非常時の生命・財産を守るためにあるのですが、何事もないかのように過ぎてゆく日常の生活にも重要なんですね。

(関山 剛)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 神沢 博(理事)・古川武彦(理事)

藤部文昭(理事)

青柳 曉典・石田純一・大淵 濟

小山 亮・勝山健一・勝山 税

金田昌樹・川島正行・木村陽一

杵 渕健一・小出 寛・桜井敏之

佐藤晋介・小司 禎教・住 明正

関山 剛・高橋 宙・田口晶彦

寺坂義幸・中西幹郎・中村 尚

新村典子・別所康太郎・水野 量

村上茂教・山本 哲

地区編集委員 北海道 西 道夫・渡部雅浩

東北 藤田由紀夫・岡本 創

関東 田代誠司・平原洋一

中部 永尾一平・岡田 京

関西 二階堂義信・山中大学

九州 渡辺典昭・中島健介

沖縄 我謝良弘

編集書記 遠藤和子

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい個人または団体(図書館も含む)は、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている下記の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
学術著作権協会

Tel: 03-3475-5618, Fax: 03-3475-5619

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Notice about photocopying

In order to photocopy any article from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan

Tel: 81-3-3475-5618, Fax: 81-3-3475-5619

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp